

# 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年6月23日 No. 15 文責：佐野紳二

## 国語の教科書のハナシ 昔から教科書に載っている物語は？

国語の宿題で「音読」が出されることがあります。低学年のうちはおうちの方に聞いていただき、印や○をいただくことになっているので、お父さんやお母さんも教科書にどんな作品が掲載されているか、比較的好くご存じだと思いますが、高学年になるにつれて音読を聞く機会が減ってくるので、教科書にどんな作品が載っているかも分からなくなってくるかも知れません。

山梨県では以前から、光村図書の国語の教科書を使用しています。(少なくとも、私が教員になった35年くらい前からはずっと光村図書の教科書を使用しているので、お父さんやお母さんが小学校で国語の勉強をしたときには、多くの方が光村図書の教科書を使って学習していたものと思われます)近年、学力観の変化に伴い、国語の教科書も一昔前のものとはだいぶ変わってきています(具体的には「話す」と「書く」の内容が多くなったように思います)が、中には長い間ずっと変わらずに教科書に掲載されている作品もあります。そこで今日は、今、教科書に載っている作品は、いつごろから教科書に掲載されているかを調べてみました。

### 教科書に載っている物語と初めて教科書に掲載された年

| 学年 | 教材名            | 初めて教科書に掲載された年 |
|----|----------------|---------------|
| 1年 | はなのみち          | 昭和55年         |
|    | おおきなかぶ         | 昭和52年         |
|    | おむすびころりん       | 昭和55年         |
|    | くじらぐも          | 昭和46年         |
|    | ずうっと、ずっと、大すきだよ | 平成4年          |
|    | たぬきの糸車         | 昭和52年         |
| 2年 | ふきのとう          | 昭和61年         |
|    | おてがみ           | 昭和55年         |
|    | スイミー           | 昭和55年         |
|    | スーホの白い馬        | 昭和46年         |
| 3年 | モチモチの木         | 平成4年*         |
|    | ちいちゃんのかげおくり    | 昭和61年         |
| 4年 | 一つの花           | 昭和55年         |
|    | ごんぎつね          | 昭和46年         |
|    | 白いぼうし          | 昭和46年         |
| 5年 | 大造じいさんとガン      | 昭和55年         |
| 6年 | やまなし           | 昭和46年         |
|    | 海のいのち          | 平成8年          |
| 2年 | たんぽぽのちえ(説明文)   | 昭和46年         |
| 3年 | ありの行列(説明文)     | 昭和49年         |

左の表は、一昨年から使用されている国語の教科書に掲載されている物語作品のうち、「比較的長い期間教科書に載っている」と思われる作品が、いつから教科書に掲載されているかを調べたものです。作品名を見ると「あー、懐かしい」なんて思われる作品が多いのではないのでしょうか。改めてこうやって調べてみると、いろいろなことが分かってきます。



### 発見① 最も長く教科書に掲載されている作品は5つ

今回、調べた中で最も長く教科書に掲載されている物語作品は、「くじらぐも」「スーホの白い馬」「ごんぎつね」「白いぼうし」「やまなし」の5作品でした。昭和46年と言えば、佐野少年（私）が小学校に通っていた頃ですから、そう考えると随分長い間、教科書に載っているんだなあ…と実感します。

### 発見② 長く掲載されている作品は低学年の方が多い

小学校1年生では6つの作品が長い間教科書に掲載されていますが、学年が上がると長い間掲載されている作品が減ってきます。（理由ははっきりしませんが、多分時代による価値観の変容を受けやすいのが高学年の作品に多いのだらうと思います）

### 発見③ 多くの作品が教科書に登場したのは昭和55（1980）年

「おてがみ」や「スイミー」、「大造じいさんとガン」など、多くの作品が昭和55年から教科書に掲載されています。この年は、モスクワオリンピックが開催され（日本はボイコットのため不参加）たり、ルービックキューブや任天堂ゲーム&ウォッチが流行ったりした時代です。漫オブームもこの頃からでした。

### 発見④ 「モチモチの木」は一度教科書から消えて、また復活した

斎藤隆介さんの名作「モチモチの木」が最初に教科書に掲載されたのは、昭和52年でした。しかし、次の教科書改訂のときには教科書からなくなり、再び掲載されるようになったのは平成4年でした。

### 発見⑤ 随分長い間掲載されている「説明文」がある

2年生の教材「たんぼぼのちえ」は、昭和46年からずっと教科書に掲載されています。3年生の「ありの行列」も昭和49年から。この2作品以外にも1年生の「じどう車くらべ」や「どうぶつの赤ちゃん」も、かなり昔から教科書に掲載されています。

### 発見⑥ 教科書から消えていった作品

長い間、5年生の教科書に掲載されていた「わらぐつの中の神様」は、今回の教科書改訂で教科書から消えてしまいました。個人的にはとても好きな作品だったので、残念ですが…他にも「つり橋渡れ」や「かさこじぞう」「茂吉のねこ」「手ぶくろを買いに」なども、いつの間にか教科書から消えてしまいました。

いかがでしょうか？今回は、長く教科書に掲載されている作品を採り上げてみましたが、教科書にはこれらの作品以外にも、とても魅力的な作品が数多く掲載されています。ぜひ、ときどき子どもから教科書を借りて、お父さん・お母さんも「読書」を楽しんでみてください。

## 野菜が収穫できたよ！ 2年生が植えた野菜が大きくなっています

No.14 で子どもたちが育てている野菜や花が成長している様子をお伝えしましたが、こここのところの雨と気温の高さのためでしょうか、予想よりも早く成長しているようです。2年生が植えたキュウリやパプリカ、オクラなどの野菜は早くも実をつけはじめました。先日の生活科の時間には、観察をしながら大きく成長したキュウリを収穫し、給食の時間にみんなでいただきました。中には野菜が苦手な子もいたようですが、自分たちの手で育てた野菜は、市販の野菜とはちょっと違う特別な味がしたかもしれませんね。本格的な収穫は、もう少し先になりそうです。



先週末に予定していたヒマラヤスギの伐採は、悪天候が予想されたため延期となりました。作業は夏休み中に実施する予定ですが、詳細な日程は決まり次第連絡させていただきます。